

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 2 月 7 日(2022.2.7)

【公開番号】特開 2021-142404(P2021-142404A)
【公開日】令和 3 年 9 月 24 日(2021.9.24)
【年通号数】公開・登録公報 2021-045
【出願番号】特願 2021-104176(P2021-104176)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

10

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 1 月 28 日(2022.1.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

球を貯留可能な貯留手段と、その貯留手段に球を供給する供給手段と、前記貯留手段に貯留された球を排出可能な球排出開口と、その球排出開口を通過した球が流下可能な球流路とを備える遊技機において、
前記球排出開口を球が通過することを規制する規制状態と、前記球排出開口を球が通過することを許容する許容状態で状態変化可能に構成され、前記規制状態から前記許容状態に状態変化した後、所定期間内に前記球排出開口を通して前記貯留手段から排出可能な球の個数の幅を所定範囲に制限する球抜き手段を備え、
前記球流路は、上流側の開口部の形状と、下流側の開口部の形状とが異なり、
前記球抜き手段は、上面に球が配置されうる第 1 手段と、その第 1 手段と当接可能な第 2 手段とを備え、前記第 2 手段が所定位置に配置されることで、前記第 1 手段の上面に配置される球の個数に関わらず前記規制状態を維持可能に構成されることを特徴とする遊技機
。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 2】

40

ここで、パチンコ機等の遊技機において、払い出し装置から払い出された球であって、発射前の球を貯留手段に貯留し、その貯留した球を球排出開口から下方へ流下可能な遊技機がある（特許文献 1）。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 4】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、球の貯留手段からの排出態様に改良の余地が

50

あるという問題点があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、貯留手段からの球の排出態様の良好な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、球を貯留可能な貯留手段と、その貯留手段に球を供給する供給手段と、前記貯留手段に貯留された球を排出可能な球排出開口と、その球排出開口を通過した球が流下可能な球流路とを備える遊技機であって、前記球排出開口を球が通過することを規制する規制状態と、前記球排出開口を球が通過することを許容する許容状態とで状態変化可能に構成され、前記規制状態から前記許容状態に状態変化した後、所定期間内に前記球排出開口を通して前記貯留手段から排出可能な球の個数の幅を所定範囲に制限する球抜き手段を備え、前記球流路は、上流側の開口部の形状と、下流側の開口部の形状とが異なり、前記球抜き手段は、上面に球が配置されうる第 1 手段と、その第 1 手段と当接可能な第 2 手段とを備え、前記第 2 手段が所定位置に配置されることで、前記第 1 手段の上面に配置される球の個数に関わらず前記規制状態を維持可能に構成される。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 1 記載の遊技機によれば、貯留手段からの球の排出態様を良好にすることができる。

10

20

30

40

50